



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2005年11月18日
MR/J35/05

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5 53 70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

国連大学: アフリカにおける持続可能な開発 革新的な情報通信技術(ICTs) の活用

国連大学、チュニジア政府、オンラインアカデミーを設立 ボルジュ・セドリア・テクノパーク、バーチャル・アカデミーを主催

情報通信技術(ICTs) の革新的な活用こそ、アフリカにおける持続可能な開発への移行、そして、他の地域との格差の縮小、という、数十年単位の発展をより加速させる事になる、と国連大学の専門家は述べている。

トレーニング、情報共有、政策決定及び環境のモニタリングを促す事で、インターネット他、ハイテク技術は、アフリカの国際競争力を強化し、効率を上げ、また環境を犠牲にする事なく、数百万もの人々に収入をもたらす、と国連事務次長、国連大学学長のハンス・ファン・ヒンケル氏は述べている。

「アフリカが情報通信技術(ICTs)のメリットを活用し、特に大陸全般において、人材教育がなされる事の重要さは強調しきれない」とハンス・ファン・ヒンケル氏は言う。「今日の数百万にも及ぶアフリカの人々、また、今後世代を経て数億に達するであろうアフリカの人々の健康及び食料の確保には、情報通信技術の成果を早急にあげる事が重要である。アフリカが、その潜在能力を持続可能なものにするためには、今後、戦略の中心に、これら技術をもたらす事が、不可欠である」。

ファン・ヒンケル氏は、世界情報通信サミット(於:チュニス。2005年11月16日~18日まで開催)の席で、ボルジュ・セドリア・テクノパークとの共同イニシアチブで、アフリカの持続可能な開発を強化するための、バーチャル・アカデミーの設立を発表した。

このアカデミーは、主に、水、環境、再生可能エネルギー及びバイオテクノロジーの分野におけるオンライン・トレーニングに焦点を当てている。情報を共有するための新たな技術の開発を行い、アフリカにおける電子技術の支援を行うものである。

本イニシアチブには、メディア・センター、デジタル・ライブラリー、そして、アフリカの大学及び研究機関とのネットワークを構築するためのコンピューティング・センターが含まれている。協力大学及び研究機関には、国連大学と提携を結んでいるグローバル・バーチャル・ユニバーシティー、国連大学ウォーター・バーチャル・ラーニング・センター、そしてアフリカン・バーチャル・ユニバーシティー(ナイロビ、ケニアに拠点を置いており、アフリカ27カ国、57以上のラーニングセンターを持つ)が含まれている。

また、本プロジェクトは、チュニジアにて既に活用されている、科学研究省(<http://www.mrstdc.gov.tn/accueil.htm>)のデジタルライブラリー(<http://www.cnudst.rnrt.tn/>)及び、高等教育省のバーチャルユニバーシティー(<http://www.uvt.rnu.tn>)を元に構築されている。

「国連大学は、オンライン及び通信教育の分野に精通しており、これらのノウハウを、アフリカにおいて共有し、持続可能な経済開発に寄与する用意がある。また、環境の課題に注力しているチュニジアのボルジュ・セドリア・テクノパークは、最も理想的なパートナーである」とファン・ヒンケル教授は言う。

ボルジュ・セドリア・テクノパーク最高責任者のマネフ・アデラバ教授は、チュニジアが、地理的にアフリカとヨーロッパの交差部分に位置している事の意味を強調している。

「アフリカの研究者たちは、地理的に隔離されてしまっている事で、持続開発における膨大な商業的可能性について、気づかずにいる。我々は、このアカデミーが、アフリカのより明るい経済、環境の未来に貢献する事を期待している」。

本アカデミーにおいて、今後5年間に構築される大規模なプラットフォームからは、以下の点が期待される。

- アフリカの学者及び学術機関向けに、ウェブベースのトレーニング教材を研究開発すると同時に、政策立案者達に提案を行う事のできる、自立した、持続可能な開発を軸に考える事のできる専門家を育てる。
- アフリカ開発に携わるステークホルダー間の対話を向上させ、より迅速でわかりやすく、確実であり尚且つ費用負担の発生を抑えた、開発解決策を生み出す事で、情報通信技術の開発に伴う、新たなパートナーシップを築く。
- 様々な教育関連のプロジェクトをアフリカ全般に構築し、ネットワークを築く事で、同様な価値観や目的を共有するアフリカのパートナー達の成功例を紹介する。
- アフリカ諸国の技術能力を高め、アフリカにおける、持続可能な環境及び経済の開発に貢献する事を可能にする、知識集約型の高付加価値産業を活用、建設する。
- アフリカ、アジア、その他の国際研究機関間で、適合する研究課題を効率的に行うための、プラットフォームを構築する。
- JICA など、日本の協力機関より、本提案センターの管理及び研究マネジメントの支援を得ることで、三者の関係を築く。

国連大学と世界情報通信サミット (WSIS)

国連大学は、グローバルな大学（ネットワークのネットワーク）である。インターネットの出現により、30年前の設立時に描かれたビジョンに技術が追いついてきていると同時に、国連大学は、今、新たな局面を迎えている。

環境や持続可能な開発など、様々な課題に取り組む国連大学では、主に世界中の大学から集まった学者達から成る、「グローバル・ラーニング・スペース」を立ち上げる事を目標としている。

本目的を達成するための第一歩として、2002年持続可能な開発世界サミットにおいて、国連大学グローバル・バーチャル・ユニバーシティとアジア・パシフィック・イニシアチブ（通信教育を支援するための、各地域での大学間の連携）が挙げられる。主要目的は、途上国の機関に対し、共同コンテンツをデザイン、提供することであり、国連大学は、オープン・エジュケーション・リソース（コース教材及びコンテンツの開示）を支援している。

ここで注目すべき点は、知識の共有化をサポートするための、「オープン・システム」という考え方である。（スタンダード、ソフトウェア、教育リソースの開示）。

コンテンツを共有するために、特にアフリカでは、学術機関におけるインターネットの接続状況の改善、というインフラの整備が必要とされる。こういった状況を踏まえ、国連大学は、アフリカ大学ネットワーク(AFUNET)の主要サポーターでもあり、現状のネットワークをオープンにし、接続をしていく、という作業を実際に行っている。

国連大学及び、国際電気通信連合(ITU)とヨーロッパ合同素粒子原子核研究機構(CERN)の元、AFUNETは、アフリカの大学におけるインターネットの接続状況の改善に注力を注いでおり、研究

及び教育関連のネットワーク構築の支援を行っている。また、AFUNET は、アフリカに事業本部を立ち上げる事を提案しており（アフリカ大学連盟の元、設置される事が望まれる）、5つの地域に支部を設置し、様々なインターネットのサポートサービスが、他の先進工業国同様に提供されることを目指している。

更に、世界情報通信サミットで国連大学は、アメリカ大学連盟、ITU、そして CERN と共に進めている AFUNET の更なる発展の活動資金提供も求めている。

アフリカにおけるコンテンツの開発については、国連大学の「革新的能力開発」イニシアチブが既に、活動を開始しており、世界情報通信サミットでは、環境関連のオンライン・コース開発及び、共同教育プログラムへの資金提供を求めている。

「これら『オープン』イニシアチブは、途上国に飛躍的な利益をもたらす」。国連大学国際ソフトウェア技術研究所（中国・マカオ）代表のマイク・リード氏は言う。「このイニシアチブには、オープン・ソース・ソフトウェア、オープン・スタンダード、オープン・コンテンツ、オープン・コース素材、専門誌や出版物へのオープン・アクセス、及びオープン・ネットワークが含まれており、これらは、貧困の撲滅や貧富の差から生じる情報へのアクセスの不平等を排除する、重要な可能性を秘めている。国際社会は、こういったイニシアチブに対し、早急に支援体制を整えていくべきである」。

国連大学の任務は、ソフトウェアの開発、Eガバナンスの推進、技術改革政策、オープン・ソース・ソフトウェア、オンライン・ラーニング、IT 及び環境の支援のイニシアチブをとる事である。現在既に、国連大学の12の研究/研修センターのうち、6の機関が WSIS の活動に直接携わっている。

国連大学

国際連合大学は、1973年、国連総会で設立が決議された、グローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的とした世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関である。国連大学の使命とは、国連とその加盟国および国民が関心を寄せる緊急かつ地球規模の問題解決の努力に学術研究と能力育成をもって寄与することであり、東京の本部のほか世界各地にある直属の研究・研修機関や既存の大学、研究機関、研究者などとの国際的ネットワークにより活動している。

本件、詳細について等お問い合わせは、国連大学広報部の谷野（やの）まで。
(tel: 03-5467-1311; e-mail: media@unu.edu).



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。1975年に開設され、今年30周年を迎えました。